

加西市議会だより

council reports No.126

第234回(12月)定例会を開催

第234回定例会を11月30日(火)から12月22日(水)の日程で開催し、本会議、委員会において慎重に審議を行いました。

執行者より提出された議案について、平成21年度決算案件11件を認定、人事案件1件が答申、議案11件が原案可決、議案2件(住民投票条例の制定、北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結)が原案否決、議案1件(一般会計補正予算)が修正可決となりました。

また、請願1件を採択、請願2件(議員報酬検討特別委員会の設置とインターネット中継について、加西市議会議員の定数条例の改正について)が不採択、陳情2件(加西市議会基本条例の改正について、市議会議員定数の改正について)が不採択となりました。

CONTENTS

2~3 委員会の審査状況

4 討論

5 議決結果一覧

6~10 質疑・一般質問

11 12月議会トピックス、常任委員会行政視察

12 第235回臨時会、3月議会日程等



第235回(1月)臨時会を開催

第235回臨時会を1月31日に開催しました。この臨時会は、2名が欠員となっている教育委員会委員の任命、昨年12月議会で否決となった北条中学校の地震改築工事請負変更契約、国の緊急経済対策としての交付金に対応する補正予算等の急を要する案件について審議を行いました。3議案について、いずれも原案どおり同意、可決となりました。

「議会改革度調査2010」で加西市議会が全国6位に！

早稲田大学マニフェスト研究所が実施された「議会改革度調査2010」において、加西市議会が全国で6位にランキングされました。「情報公開」「住民参加」「議会機能強化」についての議会の改革度を調査したものです。加西市では、昨年6月に議会基本条例を策定して以降、委員会のインターネット中継、政務調査費の公開や、議会報告会の実施等に取り組んできたことにより、特に「情報公開」「住民参加」について高く評価されています。

これらの取り組みにより、県外からも加西市の議会改革について、多くの視察(以下の写真参照)を受け入れています。



1月18日 三重県尾鷲市議会



1月20日 滋賀県彦根市議会



2月3日 兵庫県篠山市議会

12月定例会 委員会の 審査状況

12月定例会では、13議案が各常任委員会に付託され、12月15、16、17日に審議されています。その概要についてお知らせします。

建設経済委員会

(議決結果)

4議案について、全会一致で可決。

(主な審議の状況)

一般会計補正予算(第3号)

労働費の緊急雇用対策費500万円の内訳については、民間事業者やNPOに委託して行う費用が437万5,000円、残りを直営でアルバイトを雇用していくとのこと。募集資格については、人材育成と若者の雇用促進を図ることが主で、40歳までの方が対象とのことでした。



また、事業所に勤務し資格を取っても雇用がない場合はそれで終わり、せっかく人材育成を実施しているのであれば、就職あっせんの方角に持っていけないかとの意見が述べられ、執行者からは本来はそこまで考えるべきで、事業の進みぐあいや雇用した方々の意見、状況を見ながら考えていきたいとのことでした。

直営で実施される出会いサポート事業の形態については、少子化担当と連携をとりながら事業を進め、結婚を希望する若者に対しコミュニケーション能力の向上等を図る講座を開設する等のサポート事業を実施し、県の機関や事業を実施している市と連携をとりながら広域で取り組み、加西市のシステムを構築していきたいとのことでした。

厚生委員会

(議決結果)

7議案について、いずれも全会一致で可決。

(主な審議の状況)

貸付金の返還の免除に関する条例の制定

看護学生等に就学資金を貸し付ける制度を運用するに当たり、加西病院に一定期間勤務する場合に貸付金の返済を免除するという制度を設けるもの。貸付を行うに当たっての面接や書類審査の有無については、院長以下が面接を行い、1学年2名の定数で、今後認定看護師等へ進んでいけるような方を決定しているとのこと。貸付制度は22年4月から実施しており、対象としては播磨看護専門学校の生徒に限定していないが、播磨看護専門学校に同様の制度ができた場合は、加西病院が対象とする学校からは除外されるとのことでした。

北はりま消防組合の設置

西脇市、加西市、加東市、多可町が、住民サービスの向上、財政基盤の確立と行財政運営の効率化、消防体制の基盤強化等

を目的に、消防事務の共同処理を行うため、北はりま消防組合を設置するもの。統合されることで、消防職員の定数が大幅に減ることがあってはならず、広域の災害に対応するためにも現場をいままですべてに充実させるべきとの意見に対し、統合によって総務関係がすべて本部事務になるため、現場については現状以上の対応ができるよう重点的に組織改革を図っていききたいとのことでした。



加西市消防本部

総務委員会

(議決結果)

住民投票条例の制定の修正案は賛成少数(2対3)で否決、原案は賛成者なしで否決、北条中学校地震改築工事請負変更契

約の締結は賛成少数(2対3)により否決、一般会計補正予算(第3号)の本委員会所管部分は賛成多数(3対2)により修正可決。訴えの提起については全会一致で可決。

(主な審議の状況)

住民投票条例の制定

「市民の総意」という表現について、投票資格者の2分の1で投票要件が成立し、その過半数が投票資格者の3分の1以上であった場合、投票結果を尊重することとなり、その数をもって「市民の総意」と表記するのは問題があるのではないかと指摘に対し、執行者からは、「総意」とは市民の意思という考えのもとに表現したものであり、他の法律においても使用されているとのことでした。

住民投票ができる重要事項の除外規定について、住民投票ができる案件かどうかの基準は、市を二分するような重大な課題について住民投票ができるようにするもので、他市においてはほとんどが合併問題や原発問題、基地問題等、非常に大きな市民全体を巻き込むような課題になっているとのこと。委員からは、除外規定を具体的事例の

表記にすべきではないかとの指摘がなされ、当局からは個々の具体的表記は限界があり、すべてを網羅することは難しいとのことでした。加西市内の喫緊の課題である学校統廃合問題について、除外規定に盛り込むことは是非について見解を求めると、当局からは市全体にかかわる問題を住民投票にかけていくとするもので、学校という具体的表記はいかなるものかとする考えが示され、市長からは、特定の学校統廃合問題を住民投票に付すことを前提にはしていないので、あえて除外規定の中に盛り込むことまでは考えていないが、市民からどうしても住民投票にかけてほしいという請求が出てくれば、応じざるを得ないとのことでした。

投票の有資格者については、公職選挙法を準用しているが、委員からは、より多くの市民の意見を聞くため、他市においては18歳としているところもあり、当市の考え方を確認すると、執行は選挙管理委員会に委任するため、通常の選挙と同様、20歳以上としているというものでした。市長からは本条例の制定に向けて、3年越しで取り組ん

でおり、18歳から適用することには、全く同じ考えだが、事務レベルでは難しいため、今回は20歳以上としたとのことでした。

そのような議論の後、井上智章委員と桜井委員より、①「市民の総意」を「市民の意思」へ変更、②除外規定に小中学校の存廃に関する事項を追加、③公職選挙法による選挙が同時期に実施される場合は、投票期日を原則変更する修正案が提出され、採決の結果、賛成2反対3の賛成少数につき否決、続いて原案について、賛成0につき否決すべきと決定しました。

北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結

コンクリート殻の再利用については、校舎の解体コンクリート殻を破砕機で小さくしたものを舗装下の路盤に利用しようとするもので、経費については処分しても再利用しても変わらないというもの。委員からは、再利用の場合は敷地内で破砕をしなければならず、騒音や粉塵による周辺住民への影響について確認すると、周囲を防音パネルで囲い、作業を行っており、いまのところ苦情は聞いていな

いということでした。委員から十分な配慮を要望されると、教育長からは周辺住民に直接話をし、確認していきたいとのことでした。

ミストユニットと保健室の床暖房については、委員から、市内の小中学校と比較すると、余りにも格差があり過ぎる状況になり、ぜいたく品とも思えるような設備について、今後他校にも導入していく予定か確認すると、生徒が勉強に集中するため、快適な環境をつくる必要が重要で、ミストユニットについては、今後希望が多ければ導入をしていきたいとのことでした。

また、今回の内容がなぜ当初設計に入れられなかったのか、当初入札で安く落とし、後から追加工事をしていくという手法では適正な工事が確保できない等の意見が述べられ、市長からは今回の変更契約の内容は、私が無理に押し入れたものではなく、教育委員会から提案されてきたものだが、議会で無駄と感じられるものがあれば切ってもらってもいいという意見まで述べられました。契約案件は議会の修正が及ばないため、採決を行ったところ、賛成2反対3

の賛成少数につき否決となりました。

一般会計補正予算(第3号)

県から購入した保健所跡について、教育研究所として利用していくための改造等に1,000万円も使う内訳について確認すると、エアコンの老朽化による更新、水道配管の破損等、購入時点でわからなかったことに加え、教育図書や備品が必要になったとのこと。新年度予算で対応できない理由について確認すると、新年度から多くの市民に利用してもらうために、1月と2月に開設に向けた準備を進めたいとのことでした。

9月議会に引き続き、米を利用してパンを焼くホームベーカリーが予算化されているため、再度予算計上されてきた経緯について確認すると、食育アドバイザーを含めて、再度協議をしたところ、特別支援学校と各公民館へのホームベーカリーと一緒に発酵器も導入することで、効果的な運用ができるという結論に至ったため、提案したとのことでした。しかし、米を利用したホームベーカリーについては、予約受け付けが中止されて

いるため、当初予算対応でもよかったのではないかの意見が述べられ、執行者からは、少しでも早く予約注文を入れて納入し、すぐに活用していきたいため、補正対応としたとのことでした。

そのような議論の後、後藤委員、土本委員、森田委員より、各公民館に納入するホームベーカリーについては、すべて減額する修正案が提出され、賛成3反対2の賛成多数で可決し、続いて修正部分を除く他の原案について採決を行い、全会一致で可決することに決定しました。



北条中学校

12月定例会

討 論

議案に対する討論について、主なものをお知らせします。

住民投票条例の制定

修正案に賛成

○全国的に自治基本条例が制定され、住民投票条例も検討される流れの中で、不十分であつても改善を図りながら条例を制定することは市民にとって有益。

○「総意」という言葉の解釈を巡って学校問題がストップする要因となつたことから、条例が市民の一定の意思を反映するという意味であれば改める必要がある。

○学校問題が安易に投票によつて決定されることなく、十分に議論されることを担保し、市民の不安を解消する意味で

も（学校問題を除外すること）意義がある。

○戸別訪問を認める住民投票と、一般の選挙が同時に施行されると、選挙違反等の疑念がかかる可能性があり、住民投票は住民投票のみで行うことが重要。

原案に反対

○差し当たつた案件があるわけでもないため、独立した条例として策定するのではなく、自治基本条例に組み込むべき。

○住民投票に付するかどうかの選別の基準が明確でなく、投票資格者の年齢についても十分な討議がなされていない。

○市長と議会がうまくいっていないので、投票条例を制定して強引に物事を押し進めようとしているのではないか。

修正案に反対

○学校統廃合問題は加西市の直面する最大の課題であるが、特別な条項を入れなくてはならないような条例を残すことは今後の運用に支障を来しかねない。

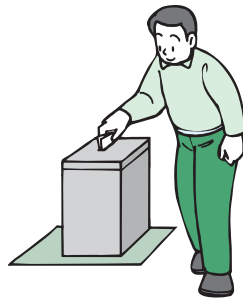
○市民の権利設定をする条例

について、軽々に修正してその場に合えばいいという策定方法は避けるべき。

採決結果

(修正案) 賛成7、反対9で否決

(原案) 賛成1、反対15で否決



北条中学校地震改築工事 請負変更契約の締結

賛成

○合計4,900万円のものだが、市の持ち出し約400万円である。

○太陽光利用、太陽熱利用、雨水利用、LED照明等の教育施設への利活用は、環境先進都市を目指す加西市にとつて願つてもない機会。

○駐車場の整備は生徒・保護者の自転車通学の要望に応え、公平性を確保するもの。

○床暖房やミストユニットは、

今後建設される学校の標準装備として担保されるべき。

○当初から今回追加されている設備を含めると、大きな金額になるため、入札残を残して対応している。

○今回の北条中学校がよい学校になれば、宇仁小学校も立派なものができるはず。

反対

○当初入札する時点で不十分と言われていたのに、安価で落札し、すぐに内容を変更して追加工事を出すという手法を認めるべきではない。

○50年も経て傾いている学校が手を加えられていない一方で、新築されて床暖房、ミストユニットまで入れるのは余りにも学校間の格差を拡大することに。

○解体コンクリートの破砕による騒音、粉塵の影響を危惧する。

○ベッドを使っている部屋になぜ床暖房が必要なのか。

○床暖房やミストユニット等で子どもを過保護にせず、鍛えるような考え方をすべき。

○環境教育とは、とりあえず設備を整えておけばいいという感覚しかないのか。

採決結果

賛成7、反対9で否決

一般会計補正予算(第3号)

修正案に賛成

(米からパンをつくるホームベーカリーの購入)

○特別支援学校はぜひ欲しいという要望を聞いているが、公民館については、使用頻度や新たな教室を開く必然性があるのか疑問。

○学校からの扇風機の設置やトイレの改修、パソコンの入れ替え等がされない中でホームベーカリーが本当に必要なのか。

○安易にホームベーカリーを学校等で使うことが本当の食育なのか疑問。

○なぜ補正予算まで組んで急いでホームベーカリーを購入する必要があるのか。

○ホームベーカリーありきで、後から理屈や学校での活用方がとつてつけられている感がある。

採決結果

(修正案) 賛成10、反対6で可決

第234回 加西市定例会議決結果一覧 平成22年11月30日(火)～12月22日(水)

■全会一致で可決、認定、答申した議案

議案第75号～81号、83号、84号

平成21年度有線放送電話、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、老人保健医療、公園墓地整備、農業共済、下水道病院の各会計決算

諮問第4号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

議案第86号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

条例案第4号 議会の議員の報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第88号 加西市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第89号 加西市土地改良事業等分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

議案第90号 加西市訪問看護事業の設置に関する条例の制定について

議案第91号 貸付金の返還の免除に関する条例の制定について

議案第92号 訴えの提起について

議案第94号 北はりま消防組合の設置について

議案第96号 平成22年度加西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

議案第97号 平成22年度加西市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

議案第98号 平成22年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

議案第99号 平成22年度加西市下水道事業会計補正予算(第1号)について

意見書案第8号 尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書(案)について

意見書案第9号 TPP交渉参加に反対する意見書(案)について

■賛否の分かれた議案(採決の行われた順に掲載)

○…賛成 ×…反対

議案	井上 智章	別府 直	丸岡 弘満	小谷 安富	繁田 基	土本 昌幸	森元 清蔵	黒田 秀一	吉田 稔	高橋 佐代子	森田 博美	井上 芳弘	西川 正一	山下 光昭	三宅 利弘	桜井 光男	高見 忍	後藤 千明	議決結果
議案第74号 平成21年度加西市一般会計の決算認定について	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	原案認定 (賛15、反2)
議案第82号 平成21年度加西市水道事業会計の決算認定について	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案認定 (賛16、反1)
請願第5号 議員報酬検討特別委員会の設置とインターネット中継について ・議員報酬検討特別委員会を設置し、インターネット中継を行うことを求める請願	×	×	×	○	×	×	議長	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	原案不採択 (賛2、反15)
小谷安富議員に対する懲罰動議	○	○	○	除斥※	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(出席停止) (賛16、反0)
議案第87号(修正案) 加西市住民投票条例の制定について (修正内容) ・文言の修正(「市民の総意」→「市民の意思」) ・小中学校の存廃に関する事項を住民投票の対象から除外 ・公職選挙法による選挙が同時期に実施される場合は、投票期日を原則変更する	○	○	○	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	修正案否決 (賛7、反9)
議案第87号(原案) 加西市住民投票条例の制定について ・市政上の重要事項について、住民投票による直接的な意思表明により示された市民の総意を市政に的確に反映させ、住民福祉の増進と市政の円滑な運営を実現させるため、条例を制定する	×	○	×	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	原案否決 (賛1、反15)
議案第93号 北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について 平成22年6月25日に請負契約を締結した北条中学校地震改築工事について、変更設計による請負金額の変更を行う	○	○	×	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	原案否決 (賛7、反9)
議案第95号(修正案) 平成22年度加西市一般会計補正予算(第3号)について ・公民館へのホームペーカーの購入費60万6,000円を削除し、財政調整基金へ積み立てる	×	×	○	出席停止	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	修正可決 (賛10、反6) ※修正部分以外は全会一致で可決
請願第6号 宇仁小学校新校舎の早期建築着手について ・宇仁小学校について、新用地に県産材を使ったエコスクールの早期着手を求める請願	○	×	○	出席停止	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案採択 (賛15、反1)
請願第7号 加西市議会議員の定数条例の改正について ・加西市の財政事情から、議員定数を12名に改正することを求める請願	×	×	×	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	原案不採択 (賛0、反16)
西川議員に対する処分要求(小谷議員提出)	×	×	×	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	×	除斥※	×	×	×	×	×	原案否決(懲罰を科さない) (賛0、反15)
後藤議員に対する処分要求(小谷議員提出)	×	×	×	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	除斥※	原案否決(懲罰を科さない) (賛0、反15)
陳情第2号 加西市議会基本条例の改正について ・会派をつくらないように条例改正を求める陳情	×	×	×	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	原案不採択 (賛0、反16)
陳情第3号 市議会議員定数の改正について ・加西市の現状や少子高齢化社会へ進むことから、議員定数を12名に改正することを求める陳情	×	×	×	出席停止	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	原案不採択 (賛0、反16)

※除斥…議員の一人に関する議案のため、審議に参加できない

質疑・一般質問

12月9、10、13日の本会議では、質疑8名、一般質問16名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。(掲載についてはどちらかを選択、発言順に掲載)

質 疑

北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について



黒田秀一 議員
(清風会)

問

4,900万円余りの変更契約だが、いままでにこのような多額の変更契約がなされたことがあったのか。床暖房等の生徒に対する甘えがよくなりがち悪くなったりする原因ではないかと思うが、教育委員会の方針か。ミストユニットは、変更契約ではなく物品納入で別件ではないか。自転車置き場について、北条は徒歩が基本だと思いが、どういった要請があったのか。

答

このような多額の変更は過去にはないと報告を受けています。設計変更及び契約変更に関しての取扱要領で、変更見込額が請負代金の30%を超える場合は別件で契約すると規定しており、この案件についてはこの範囲内です。床暖房は厳

しく育てていく風潮に逆行するのではないかと趣旨だと思

いますが、保健室、特別支援学級に入っている子どもたちにとって、より豊かで生活しやすい環境をつくっていくことも大事で、環境に配慮した部屋をつくるっていくという方向で行いました。ミストユニットは、豊かな教育環境整備の一貫として、新築に合わせて非常に厳しい暑さの中でより快適な学校生活を維持していくこととしたものです。駐輪場については、芝自治区や尾崎団地等から通学する親御さんから自転車通学にしていたいただきたいという要望があったと聞いています。

一 般 質 問

市長選挙について



桜井光男 議員
(加西想政クラブ)

問

中川市長は来年6月16日に任期満了を迎えるが、

平成17年7月3日の市長選挙で初当選され、2期5年半余り経つが、市長としての思いは。また、来年の選挙に再度立候補されるのか。

答

普通なら2期8年が区切りだと思っておりますが、私から見ると安直な百条委員会の決定に基づいて、不本意ながら失職することになり、いまもって悔しさがあります。逆にそれをばねにこの5年頑張ってきたと思います。市長選挙を意識してか、事実と反する誤った情報飛び交っており、まことに残念かつ心外です。私の施政方針や熱意をいまの市議会でなかなか理解、賛同いただけなくて嫌気が差すこともありまして、差し当たってはいまの任期を全うすることが私の役割だと思っております。任期満了までに果たすべき難問が山積しており、必死に取り組んでいる状況です。これまでの中川市政については、議員、市民の受けとめ方、評価はさまざまと思いますが、自分の思い描く理想的なスピードではないものの、通常2期8年かかってはなかなかできない成果を上げていることも

少子化と人口減対策についての提案



山下光昭 議員
(無所属クラブ)

問

人口減対策には、「働きやすい」「暮らしやすい」を求めて「魅力ある加西市」が求められる。私は、雇用対策、定住対策、住宅対策、未婚者対策、総合力の発揮できる体制の5つの提案をしたが、小野市が三洋電機に持ち込んだ、「住むならやっぱりおの」のパンフレットには、①中学3年生まで医療費が完全無料、②北播磨で一番安い上下水道料金、③神戸・大阪まで一時間、市内にコミュニティバスが巡回等、5つのポイントが書かれている。住むところを選べる人には、小野に住みた

事実だと思えます。次期市長選への出馬は未定です。私への評価や、改革路線を続けていくのか、水道料金値下げの是非、民間委託の推進についても、市民に投げかけしながら、進むべき道を3月議会までには決めたいと思います。

くなる魅力がある。加西市としてどう受け止め取り組まれるか。

答

外から来る人が魅力的だと感じて、特に子育ての若いお母さんたちが、加西に住むのが格好いい、住んでみたいと思えるまちづくりをしていきたいと思います。単に水道料金が安い等のいろんなメリットを強調する自治体もありますが、働くところがまずあること、そして遊ぶ場所や子育てがしやすい場所、スポーツや文化を楽しめる、おいしいものが食べられ、教育水準が高い、安くて快適な住宅があるというさまざまな点に加西市にもありません。そのためにも、よそから来た人に寛容で、ホスピタリティを持った市民が、ふるさとのすばらしさを自覚し、発掘していける市民が増えるように頑張っていきたいと思えます。



加西市の公立と私立の保育園、幼稚園について



小谷安富 議員 (太陽の会)

問

平成20年度決算で、公立、私立それぞれの加西市の単独負担金の総額と、児童一人当たりで割った場合、幾らになるのか。また、小野市と同じような時期から加西市も民営化できているれば、市単独の負担金の歳出が幾らくらいで済んだか。

答

平成20年度では、公立保育所市単独負担額9,700万円(児童一人当たり9,700万円)、私立保育所市単独負担額9,700万円(児童一人当たり17万5,000円)です。小野市は現在、保育所14施設、幼稚園2施設所在し、保育所はすべて私立、幼稚園は公立です。小野市は古くから保育所は私立施設が多く、昭和63年度から全園が民間施設になりました。小野市並に民営化されていたらということですが、国県負担金が交付税算入されたことにより、平成21年度で8,000万円程度の減益が発生する

と見込まれます。それに係る16年から22年度の7年間ということになります。

学校再編と小中一環教育について



別府直 議員 (新政会)

問

統廃合が行われれば、小中一貫教育には太陽熱等を利用した屋根付きプールの配備や、ランチルーム形式の給食方法等の新しい教育環境整備が必要と考える。統廃合してこそできる環境整備された新しい学校のイメージを、市民にも伝えていくべきではないか。新しい構想でこれからつくり上げていく学校には、すばらしい環境が整い、多くの子どもたちの笑顔に満ちあふれる学校像を描いてもらいたい。

答

新しい学校の統廃合を進め、小中一貫校等の新しい学校施設をつくる場合は、ハード、ソフト両面で学校施設の内容を充実させたいと思っています。太陽光発電や太陽熱温水器、床暖房やその他の環境対策

を十分に講じて、快適でいままでの加西の学校のイメージが一新できるような施設を目指したいと思います。ランチルームも多目的ホールとしてつくっておけば、ランチルームや立食パーティールームにも使えるし、学校のイベントにも活用できます。子育て世代が、ほかからわざわざ加西に移り住んで、質の高い加西の教育を受けたいと思ってもらえる教育環境づくりに教育委員会と連携して当たりたいと思います。

任期付職員の見況とその効果と市民生活への影響について



吉田稔 議員 (清風会)

問

現在の任期付職員は何名で、どんな仕事しているのか。高額な給与を支払い、短期間で効果を出すのが任期付職員と理解する。採用時に短期間で効果が出るかを検討するのが任命権者の責任で、効果が出るかわからないことで多額の公費を使っていくことはいかかものかと思うが、本当に効果が出

て、市民生活が豊かになったのか。

答

自治参画課長は、男女共同参画、NPO等の市民の啓発事業、経営戦略室次長は、市役所業務の包括委託の検討、水道事業の民間活用、公有資産のアセットマネジメント*等、経営戦略室参事は、先端的事業への取り組みと情報収集、ネットワークの構築等、環境創造課主幹は、環境に優しい都市づくり、CO₂削減への取り組みの促進、地球温暖化の地域推進計画の作成、公共施設の省エネ対策の実施計画の策定等、教育委員会参事は、小中一貫教育の推進、コミュニティスクールの推進、加西市独自の英語教育の推進等を行っています。採用段階で市役所で育っていない人材を求めており、既存の職員よりも専門性、行動力、実績がある人を探っています。さらに、同年齢の職員よりも5%から7%安い水準で採用しています。任期付職員が相当実績を上げてくれて、成果が必ず出ると信じており、市民参画のプログラムや、公民連携の準備活動、企画活動は早ければ来年、水道事業等で

*アセットマネジメントとは…公有資産の活用

大きな成果が出ます。その状況に注視していただきたいと思えます。

幼稚園・保育所の統合と民営化について



後藤千明 議員
(21政会)

問

約10年前から幼稚園構想があり、既存の施設を活用して中学校区に1つの幼稚園を設置する答申が出された。その後、統合から民営化へとあいまいな計画を発表しては市民を不安がらせてきただけで何ら進捗しないが、その要因は何か。

また、現在の加西市の優れた幼保のあり方を放棄して民営化することがプラスになるのか。市民の意向に沿った実現可能な全体計画を時間をかけて進んでいくべきではないか。

答

幼稚園構想を立ち上げるときに議論し、これから進むべき加西市の保育、幼稚園教育のあり方についての方向性がありましたが、その後国の制度等が変わり少し変更した形になりました。

民営化の利点は多様な保育、教育ニーズに対応したサービスが受けられること、施設環境が改善されること、通園バス等のオプション的なサービスも期待できることだと思っています。

幼稚園構想について、真剣に幼稚園や保育所のあり方を議論をしていただいたことは承知しており、市の財政や、職員とアルバイトの構成等、課題は多いですが、今後十分に意見を聞きながら進んでいきたいと思っています。

障がい者福祉の向上について



井上智章 議員
(新政会)

問

市内でも6小学校で学童保育が実施されているが、障がいを持った子どもたちの学童保育は実現していない。

小野市・加東市等でも、タイムケアサービスとしての保護者の就労支援や、精神的ケアのためのレスパイトケア*として障がいを持った児童・生徒への一時預かり、長期休暇中の預かりが実施されている。市として障がい

者福祉についてどのように考え、どう取り組むのか。

答

学童保育については、障がい者等がその小学校にいれば、その中で見ていただくことになるかと思っています。

それ以外の障がいのある子どもたちは、現在デイサービスの利用や日中一時支援で対応されていますが、課題として、デイサービスは北播磨地域にサービス提供事業所がなく、日中一時支援も子どもだけでなく大人と一緒にになった預かりという状況になっており、今後は児童・生徒に着目した受け皿も必要と思っています。場所的な確保等ができれば、放課後の児童の預かり等のケアができる可能性もあり、今後とも親の会等の声も聞きながら検討を進めたいと考えています。

安全・安心の街づくりについて



土本昌幸 議員
(公明党)

問

光ファイバーを活用した高齢者の見守りについて

の考えは。例えば、センサーをつけて倒れられて動かなくなったり、ボタンや携帯電話を操作できない人を発見するためのシステムが必要ではないか。



緊急通報システム

答

高齢者の家にセンサーを設置し、一定時間以上動かない状態が続くと、協力者や遠方の親族に通報される仕組みや、パソコン等で映像を確認するといったことが考えられます。

加西市の緊急通報システムは昨年度から導入し、24時間体制で看護師も配置していただきながら、お元氣コールという定期的な安全確認の電話もしていただく仕組みとして導入しています。光ファイバーが普及してきていますので、新しい技術を利用して見守り体制を構築するいろんな組み合わせが出てくると思います。ただ、昨年度導入した体制が稼働したばかりということもありますので、十分検討させていただきます。

人口増対策における子育て支援について



三宅利弘 議員
(加西想政クラブ)

問

加西市の人口増対策のうち、子育て支援は重要課題と思うが、その内の保育サービスの充実について、保育料の値下げ、保育時間の延長、保育年齢の拡充などはどのように考えているのか。

また、子育て広場の持つ役割、子育て相談への対応は、どのようにされているのか。

答

保育料については、近隣市との状況、市の財政状況を鑑みて、これから先も検討を続けます。保育時間については、人的な補充も踏まえて検討します。保育年齢については、子どもたちの安全確保から概ね8カ月以上の子どもを預かりたいと考えています。

子育て広場は、未就園の子どもをお持ちの保護者が気軽に相談でき、いろんなメニューを体験しながら親同士の交流等ができる場所を提供するという趣旨です。子育て相談は、幼稚園、

*レスパイトケアとは…乳幼児や障がい児・者、高齢者などを在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス

保育園職員や指導員等で対応しています。

保護者のサービスニーズやライフスタイルも多様化しており、それらに対応できるような組織体制、意識改革も進めたいと感じています。

消費生活相談について



高橋佐代子 議員
(21政会)

問 消費生活相談は連日のように報道されているが、新聞に載るのはほんの一部。巧妙な手口で高齢者や若者、主婦等がターゲットとなり被害が急増している。加西市の相談、被害状況はどうか。被害を未然に防ぐためには、市民からの相談事例を広報紙で紹介する等、きめ細かい市民向けの情報提供、啓発が必要。現状をどのようにとらえ、どのような体制と対策を考えているのか。

答 実際に被害に遭った方からの相談件数は、平成21年度217件に対して、平成22年度134件と約40%減少して

います。消費者相談については、市民相談とともに地域交流センターに相談員を配置し、窓口業務を実施しています。体制として専門知識を有する者1名が週4日常駐して相談業務に当たっています。今後の対策は、消費者が安心・安全で豊かな消費生活を営むことを支える窓口であることから、消費生活相談体制の充実、相談員等の人材確保と資質の向上、消費者教育・啓発活動の推進、情報公開・コミュニケーションの拡充等、消費者の信頼確保、消費者の安全・安心の確保等に向け、今後取り組みたいと考えています。



木造校舎における地震対策について



繁田 基 議員
(公明党)

問 不適格校舎として措置されているにもかかわらず、

て、耐震診断の結果が、平成23年3月に出るとのことだが、23年度当初予算には乗らないのか。危険であれば、一日も早い改築、補強という形がベストだと思つ。毎日不適格校舎と言われる建物の中で、宇仁の場合は100名近い命が校舎の中にある。23年3月に結果が出れば、即予算措置をしかかるといふ思いがあるのか。教育長の考えは。

答 平等な学習環境を保障することは、大勢の子どもたちの命を預かっている立場としては、そのように思っています。小学校の設置基準において安全上という言葉が入っており、適切なものでなければならぬという法令上のこともうたっており、十分留意し、心を痛めています。結果が出た時点で市当局等とも話し合いながら、方向性について決定していきたいと思つます。宇仁小学校については、昭和34年度に建築され、木造の耐用年数24年を過ぎ、大幅な改修ができていないため、内部の底面が傾斜しているということも聞いており、重々留意しているつもりです。

加西市のめざすまちづくりについて



高見 忍 議員
(21政会)

問 歴代市長は借金をつくられたが、加西ハイツがなければ、いまごろ人口は激減し、産業団地をつくらなければ、企業も来ず、税金も入ってこないし、働く場所もない。そうならばもっと早く人口が減っている。経済成長していない、全国的な傾向と言われるが、投資的経費は800市近い市の中でワースト10に入っており、何もやらないと言われても仕方ない。産業団地も住宅建設もないということでは人口が増える要素は何もない。そういう計画があるのか。

答 この5年間何もやっていないという指摘ですが、加西市の財政状況から、市長就任の平成17年度当時、あと2年もすれば市が破綻する懸念がありました。他の自治体は過去の借金を返すピークと投資の時期がずれていますが、加西市は過去の借金を返していかなければ

公民連携について



森田博美 議員
(21政会)

ならない時期に、小学校の建て替え等の大きな投資が重なり、財政そのものが破綻するため、まず財政の立て直しにこの5年間かかってきました。そこをご理解いただければと思います。

問 行政を切り売りするに等しい公民連携について大きな危機感を持つ。上水道事業は、長年行政の責務として条例を制定し、公金で取り組んできた重要事業。市民生活の向上を図り、安全で安心な生命にかかわる水を確認する事業であり、市民に対する責任を明確にするために、すべて議会が議決してきた。公共施設も上下水道事業も市民の財産であり、市長一人のものでない。公民連携によって、本当に未来が拓けるのか。正確な情報提供と十分な検証が示されてこそ、公民連携に対する協議が始まるもので、形だけ

の説明会を開き、そのたびに内容が異なるようでは、成熟した行政のあり方といえるのか。

答 公民連携は、官と民の対立概念ではなく、お互いに助け合い、市民のために最良のサービスを効率的に行おうとするもので、行政を切り売りするものではありません。加西市の厳しい財政状況から、従来どおりの行政のやり方では限界があるために一つの手法として公民連携の導入を検討しています。職員・市民・議員に対しても適宜説明しており、ホームページでも詳しくすべての情報を開示しています。

関係なく、目の前の通勤、通学する道が、安全・安心であることが大切。歩行者や自転車を明るく照らすLEDの設置や、青色防犯灯の設置をお願いしたい。

答

県の社会基盤整備プログラムの中に、和泉町地区で自転車歩行車道の設置事業として、全長700m、幅3.5mを片側で計画され、平成22年度に日吉小学校沿い延長約190mの拡幅工事を実施、平成25年度に完了を目指しています。全体計画は、県も持っています。具体的なスケジュールは未定です。意気込みを聞かせていただきましたので、県、関係機関へ要望したいと思えます。市道鴨谷別所線については、平成21年5月に特定交通安全施設等整備のための道路の指定を受け、今後補助事業として実施する条件の一つが整いましたが、厳しい財政事情の中、財源の確保は困難です。今後実施できる安全対策を行い、事故の防止に努めます。平成22年9月には西在田地区から県道拡幅および交通安全施設の整備の要望書を県へ提出されたと聞いており、機会あるごとに整備要望したいと考えています。



井上芳弘 議員
(日本共産党)

住宅リフォーム助成について

問 長期の不況の中で、仕事を失っていき、そして地域に雇用や所得が生まれ、所得が地域で消費され、地域を潤していく。それが自治体の財政的に潤っていくという循環型の施策を講じるべきだと思つた。近隣では明石市、福崎町でも、住宅リフォーム助成を行っているが、検討する考えは。

答

明石市の産業活性化緊急支援事業で、住宅リフォームの助成があります。内容は、助成金額が対象となる工事経費の10%、最高10万円です。住宅のリフォームに関しては、目的別にさまざまな助成事業がありますので、それらの利用を啓発することが必要と考えており、新しい補助制度の創設については、もう少し検討が必要と思つ

ています。ただ、住宅のリフォームは、建築主と地域の中小企業、工務店の結びつきの中で、建築主については、きめ細やかな対応や安心感が期待できるところ、建設業者については、受注機会の増大による雇用と地域経済の活性化につながることは確かなことだと考えています。

北条町及び中野町の道路及び水害問題について



西川正一 議員
(正睦会)

問 都市計画税が一番高い北条町12区の水害、排水等の緊急整備が行われていない。また、道路においても救急車が通れない道路があるが、その対応は。140町近い自治会に中川市長が足を運び、確認し、区長から要望を受けたことはあるのか。

中野町においても、雨水が鷺野飛行場から国道に流れてくるが、大雨が降れば大変危険な状態になる。どのように対応しているのか。

答

北条町12区の水害については、近年地球温暖化の影響により、ゲリラ豪雨が大変多く、被害が増加しています。一時期に大量の雨が降る関係で、側溝や排水路が雨水を処理できなくなり、河川が増水して床下浸水等の被害を受けている状況です。雨水対策は、生活環境部が下水道事業で従来から行っており、今後検討したいと考えています。市道の舗装補修や側溝整備、擁壁設置等、区長を窓口として寄せられる道路修繕要望に対し、予算が毎年減少しており、未施工件数が増加している現状です。担当者は現地をすべて確認していますが、市長は道路修繕工事等の実施段階で(担当が)説明を行い、必要に応じて現地を確認し、緊急性等を考慮して実施しています。中野町の国道へ流れる排水問題については、以前国道より西側からの排水が集中し、国道の下が抜けにくいいため、氾濫したと聞いています。その箇所は、非常に排水系統が入り組んでおり、現地での十分な調査を行い、関係機関と協議したいと考えています。

安全安心な街づくりについて



丸岡弘満 議員
(東風会)

問 県道下滝野市川線の拡幅工事の進捗状況と、今後の予定は。県道大和北条停車場(369号線)と、市道鴨谷別所線において死亡事故が発生しているが、具体的な対策は。市民にとれば国道、県道、市道は

関係なく、目の前の通勤、通学する道が、安全・安心であることが大切。歩行者や自転車を明るく照らすLEDの設置や、青色防犯灯の設置をお願いしたい。

明石市の産業活性化緊急支援事業で、住宅リフォームの助成があります。内容は、助成金額が対象となる工事経費の10%、最高10万円です。住宅のリフォームに関しては、目的別にさまざまな助成事業がありますので、それらの利用を啓発することが必要と考えており、新しい補助制度の創設については、もう少し検討が必要と思つ

12月議会トピックス

意見書案2件を可決

○尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書

12月22日の本会議最終日に丸岡弘満議員外9名より、昨年9月7日に発生した尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件について、政府に対し、尖閣諸島は日本の固有の領土であるとの態度を明確に中国及び諸外国に示し、国内法に基づき厳正に対処すること、事実関係の解明に努めること、国民に対し説明責任を果たすこと、中国からの謝罪や賠償には応じず、日本が被った損害を請求すること、尖閣諸島の警備体制を充実・強化することを求める「尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書(案)」が提案されました。

○TPP交渉参加に反対する意見書

井上芳弘議員外13名より、政府に対し、国民の食料自給率を確保、向上するための農業施策の推進に相反するTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉に参加しないよう強く要請する「TPP交渉参加に反対する意見

書(案)」が提案されました。

いずれについても原案どおり可決し、国等の関係機関へ意見書を送付しました。

懲罰動議・処分要求

12月9日の本会議で西川正一議員外2名より、小谷安富議員が11月30日の本会議において、議員報酬検討特別委員会の設置とインターネット中継についての請願の討論の際に、兵庫県の報酬審議会や、加西市議会の議員定数検討特別委員会を侮辱する発言を行ったとして懲罰動議が提案され、懲罰特別委員会に付託、12月14日に委員会審議を行い、12月21日の本会議において2日間(12月21日、22日)の出席停止と決定されました。

また、12月21日の本会議で小谷安富議員より、西川正一議員の12月13日の一般質問において、事実でないことを事実であるかのように発言し侮辱された、後藤千明議員の12月14日の懲罰特別委員会の発言において、侮辱されたとして2件の処分要求が提案されました。懲罰特別委員会に付託、同日審議を行い、12月22日の本会議においていずれも懲罰を科さないと決定されま

した。

なお、12月21日の本会議で小谷安富議員に対し、西川正一議員より提案された、12月14日の懲罰特別委員会において侮辱する発言があったとする処分要求、西川正一外2名より提案された12月16日の厚生委員会において、品位の尊重規定に違反する行動があったとする懲罰動議については継続審査となっています。

議員の利益供与疑惑調査特別委員会の設置

12月22日の本会議において、土本昌幸議員外4名より、ある議員の関係する土地に自身の親族が経営する介護福祉施設を建設できるように議員の立場を利用して活動していた疑いがあり、この件について調査を行う委員会の設置を求める動議が提案されました。

討論では、利益供与疑惑と断定するのは危険であり、委員会の設置は慎重であるべきとの反対意見が述べられました。採決の結果、賛成13、反対3で可決となりました。その後、8名の委員で構成する議員の利益供与疑惑調査特別委員会が設置されています。

常任委員会が行政視察を行いました

●建設経済委員会

【日時】

平成22年7月27日(火)

～29日(木)

【視察場所・内容】

- 宮城県白石市
- ・U・Jターンの支援情報サービス
- ・住宅用太陽発電システム補助金
- 山形県上山市
- ・有害鳥獣駆除対策
- ・農業振興(直売所)
- 山形県山形市
- ・住宅用太陽発電システム補助金
- ・地球温暖化対策
- 山形県東根市
- ・ゴミ減量(MBH運動)

●総務委員会

【日時】

平成22年7月28日(水)

～30日(金)

【視察場所・内容】

- 青森県弘前市
- ・学校規模の適正化
- 青森県八戸市
- ・協働のまちづくり施策
- 青森県三沢市
- ・情報公開
- ・行政改革



山形県東根市



青森県三沢市

【日時】

平成22年10月19日(火)

～20日(水)

【視察場所・内容】

- 広島県廿日市市
- ・小中一貫(校)教育
- 広島県呉市
- ・小中一貫(校)教育
- ・教育委員会のあり方

行政視察の詳しい内容を記載した「委員会行政視察報告」を加西市議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

第235回 加西市臨時会議決結果 平成23年1月31日(月)

■全会一致で同意した議案

議案第1号 加西市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対 ※採決の行われた順に掲載

議案	井上智章	別府直	丸岡弘満	小谷安富	繁田基	土本昌幸	森元清蔵	黒田秀一	吉田稔	高橋佐代子	森田博美	井上芳弘	西川正一	山下光昭	三宅利弘	桜井光男	高見忍	後藤千明	議決結果
議案第2号 北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結について ・12月議会で提案のあった地震改築工事から、ミストユニット、床暖房、コンクリート殻の再利用等を除外	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛16、反1)
議案第3号 平成22年度加西市一般会計補正予算(第4号)について ・国の緊急経済対策としての交付金により、道路、市営住宅等の修繕や、学校施設の修繕、図書・備品購入等を行うもの	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛16、反1)

■審議で述べられた意見

教育委員会委員の任命

○今後も公募を貫きたいということだが、市内にはほかにも優秀な人材は多く、公募のデメリットを精査して、市内の人材の育成を図っていただきたい。

北条中学校地震改築工事請負変更契約の締結

○予定価格よりも安く入札できたので、浮いた金額でエコスクール仕様に変えたいということだが、当初から最良の設計を用いるべきで、今後は公共事業の手本となるような手法を用いて、しっかりと手順を踏むことを願う。

○北条中学校がパイロット的な存在となり、次の中学校の改修、改築においても基本となるものができる。

一般会計補正予算

○もともとしないといけないものばかりで、交付金の目的に合致するものなのか。

○市内の雇用や、経済に十分配慮した支出をお願いしたい。

一度ご覧になりませんか。みなさんの代表の質問を！

■次回平成23年(3月)加西市議会定例会の日程

月日	曜日	時間	会議
3月1日	火曜日	9:00	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(提案説明等)
3月3日	木曜日	15:00	発言通告期限(一般質問)
3月4日	金曜日	15:00	発言通告期限(質疑)
3月8日	火曜日	9:20	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月9日	水曜日	9:20	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月10日	木曜日	10:00	本会議(予備日)
3月15日	火曜日	9:00	総務委員会
		13:00	予算特別委員会
3月16日	水曜日	9:00	厚生委員会
		13:00	予算特別委員会
3月22日	火曜日	9:00	建設経済委員会
		13:00	予算特別委員会
3月28日	月曜日	9:20	議会運営委員会
		9:40	議員協議会
		10:00	本会議(最終日、委員長報告・採決)

ようこそ
市議会ホームページへ

加西市議会

本会議・委員会の日程をはじめ、一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。

また、インターネットによる議会中継(生中継・録画中継)もご覧いただけます。

ぜひ一度ホームページをご覧になって関心のある本会議や委員会を傍聴してみてください。

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎42-8790)でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、3月4日(金)に加西市議会のHPに掲載予定です。

あなたのご意見をお寄せください

市議会だよりは、皆様と市議会をつなぐ【パイプ役】として常に『正確でわかりやすい』をモットーに編集しています。この市議会だよりをよりよいものとしていくため、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。

議会だより編集委員会 (◎委員長、○副委員長)

◎別府直 ○土本昌幸 井上芳弘
黒田秀一 後藤千明 三宅利弘